

会報 VOL.15

# 波止場町便り



2025年10月31日発行



記憶される港の風景  
(その7)

神戸港に吹いていた風の名前

## 記憶される港の風景(その7)

## 1. 神戸港に吹いていた風の名前

神戸港だけでなく、地方港も含め、港湾労働での人手不足が問題でから10年以上が過ぎている。労働力集約型産業と言われた港湾も機械化・自動化が進み省力化と生産性は改善された。なのに10年前の定数に大きな変化のない中での人手不足である。人手不足の背景には、港湾と港湾労働をめぐる環境変化があるようと思われる。

1966年(昭和41年)は港湾労働法施行年である。所轄官庁は今で云う所の厚生労働省、当時は労働省であった。労働省特別雇用対策課は主に港湾と建設の日雇労働者対策の窓口であった。というものこの業種には港湾には波動性、建設には工期という常用労働者だけでは対応できない事情があったからである。俗に言うアプレ手当一日雇用給付が共通であったが、港労法施行後はアプレ支給額や労働条件に差が出始め、日雇建設労働者の中からは「建設労働法の実現を」という運動が取り組まれたが、今日に至るも実現されていない。その大きな理由は、港湾が港という動かしようの無い場所が就労先であり、使用者側も港労法一港湾運送事業法に規定されて、責任ある対応を求められるからである。法律のもたらした効果は労使関係だけではなく、港湾管理者たる自治体にも、責任を果たすことを求めた。

それは福利厚生面でも特徴的である。かつては神戸港の港湾事業者の多くは社宅や保養所などを確保しており、自社の常用労働者のみならず地方からリクルートした者や必要な日雇労働者の居住を確保・提供していたのである。寝る場所の確保は食事の提供と共に、働く者にとっても、働かせる者にとっても有効な策であった。当時の神戸港の経営者たちの求人努力は、担当者を現地に赴かせ、西日本各地で地道に繰り広げられただけではなく、陸で失敗したり何らかの事情で神戸に辿り着いた働く意志を持った者たち全てに開かれたものであった。その努力が優秀な港湾労働者確保を結果し、神戸の港湾経済発展をもたらす事となる。今では企業の社宅も無くなり、東川崎、梅元町の登録日雇港湾労働者世帯用専用住宅、第一福祉センター、東川崎町、梅元町単身者寮は廃止・解体され跡形もなくなってしまった。福利厚生協会の管理下にある国産住宅を含む、常用労働者用住宅は健在であるが、その規模は横浜と比較しても小さいのは、自治体の支援の差が影響しているせいでもある。横浜は労働力の深刻な不足とその対策を巡って、「厚生施設の拡充と労働者住宅の建設へ」として昭和36年から10か年計画を策定し、県・市の補助金等による積極的援助により「他港に例を見ない先進的・画期的大事業」を実現したと総括している。



▲職安前の手配師

“失敗しても、やり直せる社会を” “汗を流した仕事が報われる社会を”と何代か前の首相や、労働の本質を問えない政党は語っていたが、結果は惨憺たるものである。やり直しのきかない絶望感が引き起こす、秋葉原で起きた無差別で残酷な事件は形を変えて続いている。汗を流し寒さに震え肉体の痛みに耐えながら、社会的有用労働を担う現場労働者を大事にしない社会と国家。昔の神戸港もそうであるが、「やり直し」に対して、多くの社会的諸団体も寛容であった。多くの者たちは「やり直そう」と思って波止場町に来たのではないのに、風に押されるように社会に貢献する事になった。住みやすく、働きやすい環境であったことは記憶としてある。輸出港としての在来船に対応できる技術は誇りでもあり、金額に換算して、家族に自慢している話はよく聞かされたものである。

「まちづくり」もそうであるが、労働にも統治にも哲学は必要なのである。「寛容性」は古代ローマの哲学として有名である。古代ローマと古代ギリシャの敗戦への対応の大きな違いは、名誉に対する考え方に対する考え方に対する考え方である。ギリシャの「名誉」では将軍の敗戦は許されず、死ぬまで闘うか、負けて生き延びた場合は他国に逃げるしかなかった。ギリシャ神話にふさわしくない、余裕のない硬直した対し方である。ローマは敗戦であろうとも立派に戦った結果なら生



▲30円宿の風景

きて帰ったとしても、進んで名誉回復の機会を与えた。ともに名誉を重んじる国であるが、「やり直し」を当然に認める寛容なローマの気風が、周辺国を包摂して巨大帝国に向かう過程を、私達は世界史として見ることになる。

風は四季折々で、その姿を変える。山から海から吹く風の交叉する場所の色を見た者はいない。40年前、神戸港に吹いていた風の名前は「寛容」である。

## 2. 労働環境の変遷が見せつけるもの

私が登録日雇港湾労働者として、今は解体されてしまった第一福祉センターに寝泊まりしながら神戸港で働きだしたのは、港労法施行から20年後の昭和61年(1986年)である。1966年の施行は、今も残る国産住宅の建設をはじめ神戸港の民主化・近代化を大きく促進した。その法律制定の契機となったのが10年前の

1956年「闇手配師による傷害致死事件」である。1987年神戸港湾福利厚生協会発刊の『収録港湾労働一神戸港』ではその時の事件の顛末が詳しく書かれているのだが、ここでは収録されている見出しからも状況を推察することは十分可能である。

「絶対的な「手配師の力」/ご難恐れレンチにも泣き寝入り」

「港湾労働者は泣いている/「ミナト神戸」に暴威振る手配師/ピンハネが手腕一三昼夜労働もザラ/ただ耐えるより反抗の手段もない世界」

「ミナトのオンボロ人生/手配師にぎられたアンコの生活/ゴロ寝の30円宿 手から口の暮し/あぶれたらメシ抜き 仕事も「手配師」のきげん次第」

当時の神戸港の雰囲気がよく伝わる見出しだある。50年代末から60年代の写真は、それなりに残されている。手配師も30円宿も、港職安前の喧噪もよく伝わってくる。見る人が見たらまさしく昭和である。

(続く一磯田和男)

## 活動報告

### 本年度第1回月例交流会 開催



10月2日(木)夕、今回も地域内の清掃を全員で行ったのち、場所を中華料理店味香園に移し、第1部は生田神社の加藤名譽宮司の講演「神戸歴史散歩 海がつくった国際都市・神戸」、第2部は新入会員の紹介と、今後の活動(記念碑パネル増設や写真集の神戸市内小中高全校への寄贈、X'masイベント等)の中間報告があり、大いに懇親を深め、楽しいひと時を過ごしました。



## 鈴木商店講談会案内

### 「鈴木商店 百折不撓 ～知られざるその後～」の講談会 開催のご案内

弁天浜で創業された鈴木商店の、知られざるその後の話を講談師 旭堂南龍が逸話も交え、読み聞かせる講談会が11月7日から12月1日までの間、喜楽館等で計6回開催されます。有料ですが、鈴木商店の歴史をわかりやすく聞けるいい機会ですので、是非ご覧ください。

(詳細は、協議会からのメール等をご覧ください。)



## 会員紹介

## 株式会社インター・ビジネス・コミュニケーション(株)I・B・C

弊社は1989年8月に大阪市にて設立されました。

これまでの約30年は、繊維製品を中心に様々な分野での調達・販売・投資・プロジェクトの企画・運営等を手掛けてまいりました。 国内外の企業間の橋渡し役として、言葉の壁だけでなく気候、風土、文化、地理、歴史といった多様な背景に寄り添いながら円滑な業務推進を目指してまいりました。

IT技術の進歩著しくまた生成AIなどにより世界中の情報が瞬時に手に入る時代となりました。

人間は五感を通じて初めてその情報や関係性を生活に生かすことができるとの考えは引き続き大切にしてまいります。

今後我々は目覚ましく進んでいく新しい技術を駆使しつつ、人間の五感をより意識して人と人、人と情報をつなぐ役割を果たしてまいります。

株式会社 インター・ビジネス・コミュニケーション 代表取締役 宮内陽子



## 株式会社パワーステーション

まだMacもなく、電算写植、レタッチの時代の印刷会社の営業マンからスタートし、その後印刷会社向けの組版ソフトを中心にPC・周辺機器も含むシステムを販売しておりました。個人事業主として独立し独学でデザインを勉強し制作を始め、大手とご縁が出来たことをきっかけに法人化し、そこから印刷デザイン・印刷からウェブ制作まで一貫して請け負う事業を行っております。

ウェブ・プログラム開発は株式会社KDS様と協業させて頂いており、紙のデザインを発注頂く流れで、「本誌／波止場町便り」も編集させて頂いております。本誌がご縁で協議会に入会させて頂きました。

商業印刷のデザインワークはもとより、印刷物におきましても、長年の経験・知識・ネットワークを活かし封筒は直接メーカーと取引することでコストダウンを実現、パンフ・チラシ・リーフレット類など勧奨案内類も地方の大規模工場と契約することで、一般の商業印刷会社と比べてもより安価にご提供しております。伝票類など制作会社がなくなっていく中でも滋賀・京都のフォーム会社と提携ご提供しております。

ウェブ制作におきましては、小規模の案件が中心ではありますがオリジナルデザインの静的サイトから有料テンプレートを利用したWordpressサイトの提供などを行っております。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

## 会員一覧

● 株式会社メイフェア	● 株式会社アベストコーコーポレーション	● 兵庫県信用組合本店営業部
● 住井運輸株式会社	● 株式会社住友倉庫 神戸支店	● 株式会社アテネエンタープライズ
● ニッケル・エンド・ライオナス株式会社	● 早駒運輸株式会社	● 株式会社ハイファイブ
● 甲陽運輸株式会社	● 株式会社ユニアオンエージェンシー	● 合同会社リリー企画
● 二和興業株式会社	● 株式会社ラスイート	● 株式会社SORA
● 株式会社KDS	● 中央港運株式会社	● 株式会社I・B・C
● 商船港運株式会社	● 上津港運株式会社	● 株式会社パワーステーション
● A&D MUSIC	● 走水神社	
● 神菱港運株式会社	● 昌栄運輸株式会社	
● 全港湾神戸弁天浜支部	● 株式会社クリアス	

(順不同)